



On-Site Visualization 研究会



安-19

NETIS:KK-130017-A

電気を「使う」、「少ししか使わない」、「全く使わない」 可視化手法を開発しています。

OSV研究会では「光の色によって計測データを現場でリアルタイムに可視化する」ための新しい装置群を開発し、それらを適用することによって、従来の方法とは多くの点で異なる新しい防災・安全監視システムの構築を目指して活動を続けています。今年も、すでに多くの現場で適用されている「電気を使う可視化センサ」や、開発を進めている「電気をほとんど、あるいは全く使わない」新しい方法論について紹介します。



電気を使う光るセンサを使用した例

担当部署 神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻

担当者 芥川 真一

Tel 078-803-6015

Fax 078-803-6069

担当部署 (株)環境総合テクノス 土木部

担当者 高橋 厚志

Tel 06-6263-7363

Fax 06-6263-7362



通常モードで仕事をします。



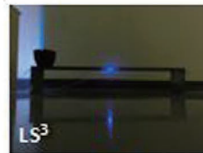
鏡を使って効率的に傾斜などをモニタリングします。計測点の数だけ鏡は増えますが、必要な光源と電力消費はかなり抑えられます。



非常に少ない電力消費で効果的に表示を可能にする電子ペーパーです。モニタリングデータの表示媒体として幅広い活用が期待されます。



光ファイバーを効果的に利用して、簡易に変形などをモニタリングします。太陽光だけでモニタリングすることも可能です。



電力消費レベル

<http://www.osv.sakura.ne.jp>